

## 第5回黒部川流域懇談会 議事要旨

開催日時：平成21年4月24日（金）14:00～16:00

場 所：黒部市民会館（2F 会議室）

議事次第： 1. 開 会

2. 挨拶

3. 出席者の紹介

4. 議 事

1) 地域の方々からの意見について

資料-1

2) 黒部川水系河川整備計画（原案）について

資料-2

3) 黒部川水系河川整備計画（原案）の費用対効果について

資料-3

5. 質 疑

6. 閉 会

### ■議 事

1) 地域の方々からの意見について

2) 黒部川水系河川整備計画（原案）について

[主な意見]

(座長)

- ・ 原案 p. 74 について、「洪水時にアキグミ群落が攪乱し拡大しやすい環境を創出する」という文章はおかしいのではないか。

(委員 A)

- ・ アキグミ群落は、洪水が来れば流出し、新しい寄り州や中州に再生するので地形を保全するというよりも、自然に任せておくのが適切ではないか。

(委員 B)

- ・ 原案 p. 48 について、「コアジサシの集団営巣地等の渡り鳥の中継地・越冬地に利用」という文章はおかしいのではないか。集団営巣地と中継地・越冬地は分けて記述すべきである。

(事務局)

- ・ 文章については修正する。

(委員 A)

- ・ 地域の方々からの意見をみると、地域の方はよく川を見ているという印象を受ける。他河川と比べてもこれほど多角的な意見はないと思う。

(座長)

- ・ 原案 p67 について、「巨石を残す」については、自然のままの状態から取り出したり

して河床材料を小さくすることをやめる、川には巨石があるということが当たり前と  
思っていないといけないので、この表現で良いと思う。

(委員 C)

- ・ 原案 p. 74 について、下流域にサクラマスの話が記述されているのはおかしいのでは  
ないか。もっと上流の方で淵をつくるなどすべきではないか。

(事務局)

- ・ 下流域の定義は、愛本下流から河口までを指している。
- ・ サクラマスについては、神通川で調査しておりその成果がまとまった段階で、黒部川  
でも適用していきたい。

(委員 B)

- ・ 原案 p. 48 について、「アユや、ミミズハゼ、カマキリ等の底生生物」という文章はお  
かしいのではないか。「アユや、ミミズハゼ、カマキリ等の魚類」と記述すべきであ  
る。

(座長)

- ・ 整備途上の川では治水上安全である保証はないので、このことが伝わるようにして欲  
しい。

(委員 D)

- ・ 段階的整備とは、どのように解釈すればよいのか。

(事務局)

- ・ 昭和 44 年 8 月規模の流量を目標にして整備している。一気に将来の計画規模まで整  
備することは難しいので、当面の 30 年間のうちは目標を明確にして、河川整備を実  
施する。

(委員 C)

- ・ ドクウツギの木を除去する考えはあるのか。

(委員 A)

- ・ ドクウツギの木を人為的に除去することも大事である。

(座長)

- ・ 事務局はよく考えて対応して欲しい。

(委員 E)

- ・ 原案 p. 52 について、「国の直轄事業により造られた巨大水制や縦工、十二貫野用水」  
という文章は、十二貫野用水は直轄事業ではないため、分けて記述するなど、文章を  
修正すべきである。

(委員 F)

- ・ 原案 p. 42 について、「湧水群の 1 つである生地駅前の清水・共同洗い場は、現在も湧  
水から湧出した水を」という文章はおかしいのではないか。生地駅前の清水は、飲用  
のみであり、共同洗い場は生地街並みにある。

(委員 G)

- ・ 原案 p. 42 について、園家地区の湧水箇所はどこなのか。

(事務局)

- ・ 後日、調べて報告する。

(委員 B)

- ・ 原案 p. 42 の杉沢の沢スギについて、「年中、地下水が白砂をあげながら湧き出ています」という表現でよいのか。

(委員 D)

- ・ 巨石の基準はあるのか。

(座長)

- ・ この川が本来持っている大きさであり、数十 cm 程度である。これらの巨石はなるべく残していくべきである。

(委員 D)

- ・ 巨石を石積みの塀として利用している玉石文化があるが、こちらに影響があるのではないか。

(座長)

- ・ 文化と治水の両立を図ってほしい。

(委員 B)

- ・ サクラマスは、3 m 以上の淵がないといけないので、正常流量 4.5m<sup>3</sup>/s では厳しいものがあると思う。是非、サクラマスの棲める川づくりに努めて欲しい。

(委員 E)

- ・ 原案 p. 42 について、海底林も地下水により守られていることを書き込んで欲しい。

(座長)

- ・ 原案 p. 72 にあるように、全国 109 水系の基準地点で愛本が最も流れが激しく危険であることから、ここを開削すれば流量増となり、下流に大きな影響を及ぼす。このため、愛本より下流を十分に整備した上で、愛本狭窄部を開削していくことを伝えるべきであると考え、本文に書いて頂いた。こういうことをよく理解して今後の整備を進めてほしいし、川を見ていただきたい。

(座長)

- ・ 本日の意見・指摘事項を踏まえて、事務局と協議・調整の上、河川整備計画（原案）としたい。

(委員一同)

- ・ 異議なし。

### 3) 黒部川水系河川整備計画（原案）の費用対効果について

[主な意見]

(委員 F)

- ・  $B/C=6.1$  は他河川と比較してどうなのか。

(事務局)

- ・ 他河川については、把握しておりません。

－以 上－